



リハビリ便り

はじめに

秋も深まり、夜の寒さが強まってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？

今月は回復期リハビリ病棟の中で取り組んでいる「更衣」についてご紹介します。回復期リハビリ病棟ではご自身の私服を持って来て頂き、日中はできる限り私服に着替え過ごされます。

「更衣」の目的は？

- ①退院後も**自身で着替える**事が出来る。
- ②着替える動作がどのぐらい出来るか分かる。
- ③日中と夜間のメリハリを付け**生活リズムの獲得**が出来る。



着替える時にこういうことで困っている事はありませんか？

靴下が履けない

ボタンが付けられない

腕が上がりなくて着れない



自助具の紹介

●ボタンエイド



細かい動作が困難な方や片麻痺の方に使用します。

●ソックスエイド



足腰が動きにくい方に使用します。

着方

手足が動きにくい時の着方や脱ぎ方

右手が動きにくい場合の例



動きにくい方の手から裾を通します。

脱ぎ方

代わりに

私達は患者さんの**自立支援**を目指してリハビリを実施しています。

「着替え」も自立支援の一貫として取り組んでおり、実際にリハビリの介入にて朝は病衣から私服へ、夕方には私服から病衣へ着替える練習を行っています。

入院される患者さんにお願いです。日中は私服で過ごす為にも、私服を2〜3枚ほど持って来て頂けると幸いです。

(作業療法士：大塚・廣瀬)



良い方の手から脱ぎます。